



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月7日

上場会社名 古河機械金属株式会社 上場取引所 東
コード番号 5715 URL <https://www.furukawakk.co.jp>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 中戸川 稔
問合せ先責任者 （役職名） 執行役員経理部長 （氏名） 田近 強 TEL 03-6636-9502
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	48,592	2.0	2,460	7.2	3,915	25.1	2,403	6.4
2025年3月期第1四半期	47,657	0.4	2,296	△16.9	3,130	△26.6	2,258	△7.2

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 3,444百万円（60.8％） 2025年3月期第1四半期 2,142百万円（△57.6％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	70.23	—
2025年3月期第1四半期	60.72	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第1四半期	248,392	132,452	52.2
2025年3月期	257,107	133,572	50.9

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 129,705百万円 2025年3月期 130,809百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	30.00	—	40.00	70.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	30.00	—	40.00	70.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	97,300	4.0	3,700	6.0	4,600	34.2	2,600	△70.2	76.75
通期	194,000	△3.6	7,700	△21.1	8,200	△15.5	5,400	△71.0	159.39

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	36,445,568株	2025年3月期	36,445,568株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	2,567,384株	2025年3月期	1,055,825株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	34,224,168株	2025年3月期1Q	37,189,789株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11
2026年3月期 第1四半期決算短信 補足資料	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものです。

(1) 経営成績に関する説明

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	47,657	48,592	935
営業利益（百万円）	2,296	2,460	164
経常利益（百万円）	3,130	3,915	784
親会社株主に帰属する四半期純利益（百万円）	2,258	2,403	145

当第1四半期連結累計期間（2025年4月1日から同年6月30日まで）の我が国経済は、雇用・所得環境が改善する中で、一部で足踏みがみられるものの、緩やかな回復の動きが続きました。企業収益は改善していますが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まっており、また、ウクライナや中東地域をめぐる情勢など、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような経済環境の下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、485億92百万円（対前年同期9億35百万円増）、営業利益は、24億60百万円（対前年同期1億64百万円増）となりました。産業機械部門は減収増益、ロックドリル部門およびユニック部門は減収減益となり、機械事業全体では、減収増益となりました。素材事業では、金属部門および化成品部門は増収減益、電子部門は増収増益となり、全体では増収減益となりました。また、不動産事業は増収増益となりました。営業外収益に持分法による投資利益14億26百万円ほかを計上した結果、経常利益は、39億15百万円（対前年同期7億84百万円増）となりました。税金費用14億49百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は、24億3百万円（対前年同期1億45百万円増）となりました。

各報告セグメントの売上高と営業利益の状況は、以下のとおりです。

〔産業機械〕

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	4,847	4,233	△614
営業利益（百万円）	△217	325	543

産業機械部門の売上高は、42億33百万円（対前年同期6億14百万円減）、営業利益は、3億25百万円（前年同期は2億17百万円の損失）となりました。売上高については、マテリアル機械は、砕石プラントの出来高減により、また、コントラクタ事業は、ベルトコンベヤ製品の売上げは増加したものの、橋梁工事の出来高減により、それぞれ減収となりました。一方、営業利益については、前年同期に発生したマテリアル機械におけるプラント工事の遅延等に伴う追加原価の減少、および橋梁工事の原価率の改善などにより、増益となりました。

〔ロックドリル〕

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	8,875	7,924	△951
営業利益（百万円）	846	746	△100

ロックドリル部門の売上高は、79億24百万円（対前年同期9億51百万円減）、営業利益は、7億46百万円（対前年同期1億0百万円減）となりました。国内については、トンネルドリルジヤンボ整備事業の売上げの減少により、減収となりました。海外については、アフリカ向けの油圧クローラドリルの出荷は増加しましたが、北米向けの油圧クローラドリルの大幅な出荷減により、減収となりました。

〔ユニック〕

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	6,999	6,781	△217
営業利益（百万円）	340	123	△216

ユニック部門の売上高は、67億81百万円（対前年同期2億17百万円減）、営業利益は、1億23百万円（対前年同期2億16百万円減）となりました。国内については、ユニックキャリアの出荷は増加しましたが、ユニッククレーンの出荷が減少したことにより、減収となりました。海外については、アジア向けのユニッククレーンおよび北米向けのミニ・クローラークレーンの出荷が減少し、減収となりました。

《機械事業合計》

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	20,722	18,939	△1,783
営業利益（百万円）	970	1,196	226

産業機械、ロックドリルおよびユニックの機械事業の合計売上高は、189億39百万円（対前年同期17億83百万円減）、営業利益は、11億96百万円（対前年同期2億26百万円増）となりました。

〔金 属〕

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	21,441	23,908	2,467
営業利益（百万円）	887	858	△29

金属部門の売上高は、239億8百万円（対前年同期24億67百万円増）、営業利益は、8億58百万円（対前年同期29百万円減）となりました。電気銅の海外相場は、9,652.00米ドル/トンで始まり、米中貿易摩擦による需要減退の懸念により、一時下落しましたが、その後はドル安を主因として上昇基調となり、地政学的リスクなどによる上げ下げはありましたが、期末には10,040.00米ドル/トンとなりました。電気銅は、海外相場の下落と円高に加え、委託損益の悪化により、減収減益となりました。一方、電気金は、販売数量の増加および海外相場の上昇により、増収増益となりました。

〔電 子〕

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	1,507	1,514	7
営業利益（百万円）	△3	11	14

電子部門の売上高は、15億14百万円（対前年同期7百万円増）、営業利益は、11百万円（前年同期は3百万円の損失）となりました。窒化アルミセラミックスは、半導体製造装置向け部品の在庫調整の影響により、減収となりましたが、コイルは、車載向けを中心に堅調に推移し、前年同期並みの売上げとなり、高純度金属ヒ素は、国内向け販売単価の上昇により、増収となりました。

〔化成品〕

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	2,467	2,637	170
営業利益（百万円）	244	185	△58

化成品部門の売上高は、26億37百万円（対前年同期1億70百万円増）、営業利益は、1億85百万円（対前年同期58百万円減）となりました。売上高については、酸化銅は、AIサーバー市場を中心としたパッケージ基板向けの需要回復により、また、亜酸化銅は、主要用途である船底塗料の需要が好調を維持していることにより、いずれも販売数量が増加し、増収となりました。一方、営業利益については、設備投資に伴う減価償却費の増加などで原価率が悪化したことにより、減益となりました。

《素材事業合計》

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	25,415	28,061	2,645
営業利益（百万円）	1,128	1,054	△73

金属、電子および化成品の素材事業の合計売上高は、280億61百万円（対前年同期26億45百万円増）、営業利益は、10億54百万円（対前年同期73百万円減）となりました。

〔不動産〕

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	511	552	40
営業利益（百万円）	185	207	21

不動産事業の売上高は、5億52百万円（対前年同期40百万円増）、営業利益は、2億7百万円（対前年同期21百万円増）となりました。主力ビルである室町古河三井ビルディング（商業施設名：COREDO室町2）は、オフィスの空室率改善により、増収となりました。

〔その他〕

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高（百万円）	1,007	1,039	32
営業利益（百万円）	34	20	△14

金属粉体事業、鋳物事業、運輸業等を行っています。売上高は、10億39百万円（対前年同期32百万円増）、営業利益は、20百万円（対前年同期14百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

	前連結会計年度末	当第1四半期連結会計期間末	対前連結会計年度末増△減
総資産（百万円）	257,107	248,392	△8,714
負債（百万円）	123,534	115,939	△7,594
（うち有利子負債 （百万円））	56,034	54,516	△1,517
純資産（百万円）	133,572	132,452	△1,120
自己資本比率（%）	50.9	52.2	1.3

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、2,483億92百万円で、前連結会計年度末に比べ87億14百万円減少しました。これは主として、現金及び預金、原材料及び貯蔵品、また、産業機械部門を中心に受取手形、売掛金及び契約資産が減少したこと、一方で、上場株式の株価上昇により投資有価証券が増加したことによるものです。有利子負債は、545億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億17百万円減少しました。純資産は、1,324億52百万円で、前連結会計年度末に比べ11億20百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、前回（2025年5月13日）発表との比較において、第2四半期（中間期）、通期ともに上方修正しています。

売上高および営業利益については、全体で増収増益となる見込みです。ロックドリル部門では、油圧クローラドリルおよびトンネルドリルジャンボ本体の出荷減により、減収となりますが、利益率の改善により、増益となる見込みです。ユニック部門では、ユニッククレーンの出荷減により、減収減益となる見込みです。金属部門では、金属価格が当初想定を上回ることから、増収となり、営業損失は縮小する見込みです。電子部門では、窒化アルミセラミックスおよびコイルの売上げの減少により、減収となる見込みです。化成品部門では、亜酸化銅の販売数量が増加し、増収となる見込みです。

また、受取配当金および持分法による投資利益の増加により、経常利益および親会社株主に帰属する純利益についても、増益となる見込みです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,846	15,871
受取手形、売掛金及び契約資産	33,621	29,544
商品及び製品	22,387	22,167
仕掛品	12,518	12,901
原材料及び貯蔵品	15,898	13,165
その他	7,510	7,541
貸倒引当金	△24	△14
流動資産合計	116,759	101,176
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,121	25,727
土地	52,553	52,530
その他（純額）	16,121	16,368
有形固定資産合計	94,796	94,626
無形固定資産	329	316
投資その他の資産		
投資有価証券	19,903	27,202
その他	26,846	26,608
貸倒引当金	△1,528	△1,537
投資その他の資産合計	45,221	52,273
固定資産合計	140,347	147,215
資産合計	257,107	248,392

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,982	12,169
電子記録債務	7,296	6,741
短期借入金	4,306	5,967
未払法人税等	5,675	395
引当金	431	502
その他	21,421	20,809
流動負債合計	53,114	46,585
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	46,728	43,548
引当金	1,625	1,483
退職給付に係る負債	995	998
資産除去債務	239	240
その他	15,831	18,082
固定負債合計	70,420	69,354
負債合計	123,534	115,939
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,208	28,208
資本剰余金	2	2
利益剰余金	82,385	83,373
自己株式	△1,940	△5,080
株主資本合計	108,655	106,503
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,237	10,416
繰延ヘッジ損益	293	53
土地再評価差額金	2,512	2,512
為替換算調整勘定	3,861	3,066
退職給付に係る調整累計額	7,248	7,152
その他の包括利益累計額合計	22,154	23,202
非支配株主持分	2,763	2,747
純資産合計	133,572	132,452
負債純資産合計	257,107	248,392

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月 1日 至 2025年6月30日)
売上高	47,657	48,592
売上原価	40,626	41,089
売上総利益	7,031	7,503
販売費及び一般管理費	4,735	5,042
営業利益	2,296	2,460
営業外収益		
持分法による投資利益	274	1,426
その他	1,083	518
営業外収益合計	1,358	1,944
営業外費用		
支払利息	128	130
休鉱山管理費	254	233
その他	140	126
営業外費用合計	524	490
経常利益	3,130	3,915
特別利益		
固定資産売却益	1	3
固定資産受贈益	—	2
投資有価証券売却益	6	—
補助金収入	12	—
ゴルフ会員権売却益	11	—
特別利益合計	32	6
特別損失		
固定資産除売却損	12	16
減損損失	63	—
その他	9	—
特別損失合計	84	16
税金等調整前四半期純利益	3,078	3,904
法人税、住民税及び事業税	565	312
法人税等調整額	208	1,136
法人税等合計	774	1,449
四半期純利益	2,303	2,455
非支配株主に帰属する四半期純利益	45	52
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,258	2,403

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月 1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	2,303	2,455
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△620	2,175
繰延ヘッジ損益	△172	△239
為替換算調整勘定	754	△853
退職給付に係る調整額	△122	△96
持分法適用会社に対する持分相当額	—	3
その他の包括利益合計	△161	989
四半期包括利益	2,142	3,444
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,068	3,451
非支配株主に係る四半期包括利益	74	△6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月 1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	1,188百万円	1,240百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					
	産業機械	ロックドリル	ユニック	金属	電子	化成品
売上高						
外部顧客への売上高	4,847	8,875	6,999	21,441	1,507	2,467
セグメント間の 内部売上高又は振替高	771	1	50	61	—	14
計	5,619	8,876	7,050	21,502	1,507	2,481
セグメント利益又は損失 (△)	△217	846	340	887	△3	244

(単位: 百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	計				
売上高						
外部顧客への売上高	511	46,650	1,007	47,657	—	47,657
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2	901	490	1,392	△1,392	—
計	514	47,552	1,497	49,049	△1,392	47,657
セグメント利益又は損失 (△)	185	2,283	34	2,318	△22	2,296

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金属粉体事業、鋳物事業、運輸業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△22百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△29百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ロックドリル」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては63百万円であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					
	産業機械	ロックドリル	ユニック	金属	電子	化成品
売上高						
外部顧客への売上高	4,233	7,924	6,781	23,908	1,514	2,637
セグメント間の 内部売上高又は振替高	834	7	98	56	—	14
計	5,068	7,931	6,879	23,965	1,514	2,652
セグメント利益又は損失 (△)	325	746	123	858	11	185

(単位：百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	計				
売上高						
外部顧客への売上高	552	47,553	1,039	48,592	—	48,592
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	1,013	549	1,563	△1,563	—
計	554	48,566	1,589	50,156	△1,563	48,592
セグメント利益又は損失 (△)	207	2,458	20	2,479	△18	2,460

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金属粉体事業、鋳物事業、運輸業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△18百万円には、セグメント間取引消去9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△28百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2026年3月期 第1四半期決算短信 補足資料

2025年8月7日
古河機械金属株式会社

〔売上高〕

(単位：百万円 単位未満切捨て)

	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	対前年同期増減
機械事業	20,722	18,939	△1,783
産業機械部門	4,847	4,233	△614
ロックドリル部門	8,875	7,924	△951
ユニック部門	6,999	6,781	△217
素材事業	25,415	28,061	2,645
金属部門	21,441	23,908	2,467
電子部門	1,507	1,514	7
化成品部門	2,467	2,637	170
不動産事業	511	552	40
その他	1,007	1,039	32
【合計】	47,657	48,592	935

2026年3月期			
第2四半期 累計予想	対前年同期増減	年度予想	対前年増減
41,200	△568	85,200	△1,101
9,500	721	21,700	△513
17,400	△1,025	33,700	△1,303
14,300	△264	29,800	715
52,900	4,240	102,300	△6,457
44,400	3,810	84,800	△7,584
3,100	△54	7,100	554
5,400	484	10,400	572
1,100	72	2,100	28
2,100	33	4,400	314
97,300	3,777	194,000	△7,216

〔営業利益〕

	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	対前年同期増減
機械事業	970	1,196	226
産業機械部門	△217	325	543
ロックドリル部門	846	746	△100
ユニック部門	340	123	△216
素材事業	1,128	1,054	△73
金属部門	887	858	△29
電子部門	△3	11	14
化成品部門	244	185	△58
不動産事業	185	207	21
その他	34	20	△14
(計)	2,318	2,479	160
調整額	△22	△18	4
【合計】	2,296	2,460	164

2026年3月期			
第2四半期 累計予想	対前年同期増減	年度予想	対前年増減
2,400	212	6,400	419
500	488	2,300	93
1,500	△39	2,500	△295
400	△236	1,600	622
900	△52	700	△2,469
400	△179	△500	△2,918
100	102	500	374
400	25	700	74
400	39	700	13
0	△26	0	△15
3,700	172	7,800	△2,052
0	38	△100	△10
3,700	210	7,700	△2,063

〔為替・銅価〕

	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	対前年同期増減
為替 円/\$	155.9	144.6	△11.3
銅価 \$/mt	9,751	9,519	△232

2026年3月期			
第2四半期 累計予想	対前年同期増減	年度予想	対前年増減
144.8	△7.8	144.9	△7.7
9,509	32	9,505	135

※参考情報（以下の数値は参考値です）

1. 産業機械部門受注残

産業機械については主に受注生産を行っており、当第1四半期会計期間末における受注残を示すと、次のとおりです。

	2025年3月期 第1四半期会計期間末	2026年3月期 第1四半期会計期間末	対前年同期増減
受注残	141億円	86億円	△55億円

2. 金属部門の金属価格変動影響による損益について

	2025年3月期 第1四半期累計期間	2026年3月期 第1四半期累計期間	対前年同期増減
営業利益	8.8億円	8.5億円	△0.2億円
内価格影響分	6.0億円	9.1億円	3.0億円
銅	(3.6億円)	(1.4億円)	(△2.2億円)
金	(2.0億円)	(7.5億円)	(5.4億円)